

日本紙管工業

# 超硬質紙管を本格化

## 高品質材料、加工技術も駆使

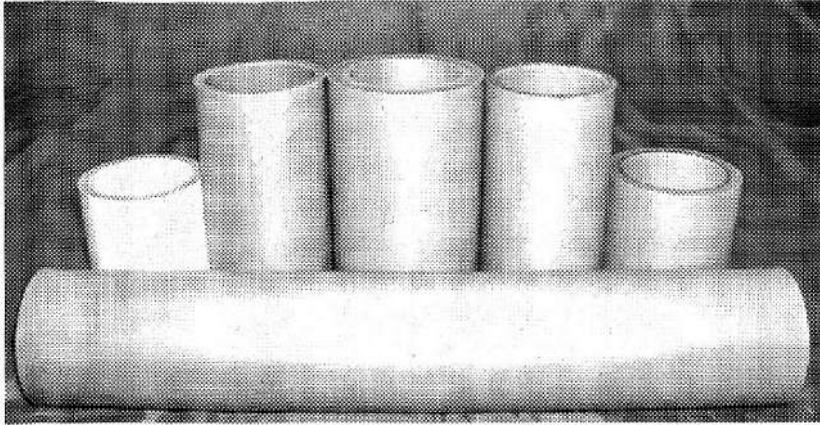
日本紙管工業（大阪市旭区、☎06・6952・0674）は、既製の紙管と比較して

強度を約30%アップした「超硬質紙管」を開発し、本格展開している。

現在、フィルムメーカー

では紙管の扁平耐圧強度不足、ベンディング強度不足などにより紙管がたわみフィルムにシワが発生し、最後まで使用できないため余尺を巻いて対応している。また直近にお

超硬質紙管



いてフィルム製品の巻きメートルを増やしたなどの要望などもあるなど、高強度紙管の要望が増加している。

同社ではこれらのニーズに対応し、紙管の高強度化を図るため原材料や生産設備および新加工技術を研究し、既存の紙管と比較して強度を約30%向上し、寸法安定性に優れた超硬質紙管の開発に成功した。

フィルム巻き取り時のシワを防ぎ、余尺をつける必要がなくなる。その結果、歩留まりが向上し、さらに顧客満足度が高まる。

同じ規格で、現状の巻き量から1・5倍の巻き量に対応でき、作業効率が向上する。紙管肉厚の薄肉化によりコストダウンを実現するとともに、原紙使用量の削減により環境配慮に貢献する。

内面に防塵紙を使用し端面を防塵加工することで、樹脂管の代替品としても対応できる。特殊原紙の使用により吸湿性が極めて低く水分の変化量が小さいため、寸法安定性に優れる。